いしかわ労福協

第 596 号 2017年9月25日
発 行 所 石川県労働者福祉協議会
発行責任者 西田 満明
編 集 人 上野 貞彦
〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
電話（076）231-1737
FAX（076）231-1731
http://www.ishikawa-rofukukyo.jp
info@ishikawa-rofukukyo.jp
毎月1回 25日発行

― 第15次日中友好訪問代表団 ―

蘇州市総工会との さらなる友好交流の深化へ

西田満明理事長を団長とする「第 15 次日中友好訪問代表団」は蘇州市総工会からの招聘を受け、8 月 23 日（水）～ 28 日（月）に中国を訪問した。

1986 年から始まった交流は今年で 31 年目を迎え、石川労福協からは今回で 15 回目の代表団派遣となる。

第 15 次代表団は、団長：西田満明理事長、秘書長：中川博専務理事、団員：光林邦彦副理事長（全労済石川推進本部本部長）、溝田勝理事（北陸労金石川県本部副本部長）、宅本門示理事（さわやかＵ事務局長）、出口俊彦（石川労信協事務局長）の計６名で構成し、蘇州市、南京市、揚州市、無錫市、上海市を訪問した。

● 8 月 23 日（水）

（蘇州市総工会 歓迎会）

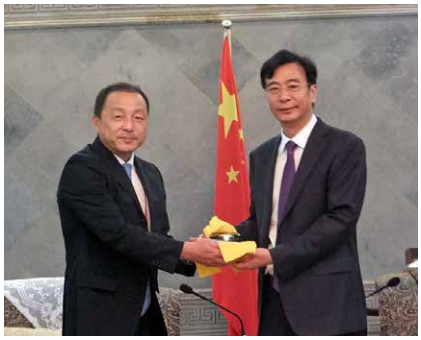
中国へは、小松空港より羽田空港を経由して訪問した。上海虹橋空港では、蘇州市総工会の高慧芹副主席と張暁波副主任、通訳の顧長江氏の出迎えを受けた。空港からはマイクロバスで移動し、予定通り宿泊先に到着した。宿泊先では歓迎会を催して頂き、蘇州市総工会の温祥華主席をはじめ、来沢経験のある幹部を含め７名の方々から歓待を受けた。

● 8 月 24 日（木）

蘇州市人民政府へ表敬訪問と 蘇州市総工会との意見交換

（蘇州市政府 会談）

まず、蘇州市人民政府を表敬訪問し、王翔常務副市長と会見した。王常務副市長は「石川労福協の蘇州市訪問を歓迎する。蘇州市は外資系企業が多く進出しており、労働者は 700 万人いる。雇用関係は安定しており、これには蘇州市総工会の影響が大きい。今後も日本との交流を深める上でも石川労福協と蘇州市総工会の交流が更に深まることを期待する。」と挨拶を受けた。これに対し、西田団長が会見の感謝の意を述べるとともに、15 回目の訪問となる蘇州市総工会との交流関係を説明し



（蘇州市政府 記念品）

（蘇州市総工会との意見交換）

た上で、石川県の労働者を取り巻く状況と課題や特産物を含め歴史と伝統ある石川県を紹介した。

（蘇州市総工会へ記念品贈呈）

その後、山野之義金沢市長から託された親書を手渡した。

続いて向かったのは蘇州市総工会。総工会は市庁舎から車で10分弱の場所に位置する。玄関口では、温主席をはじめ職員の方々の温かい出迎えを受け、会議室に案内され、幹部との意見交換を行った。温主席から、「石川労福協の訪問を心から歓迎する。1950年に設立された蘇州市総工会は350万人の組合員を有している。蘇州市は開放的な都市であり、沢山の人材が集まってきている。蘇州市は気候的にも恵まれており、日本企業はもとより外資系企業も多く進出している。蘇州市政府は企業を応援し、企業も労働者を保護しており雇用関係は安定している。言うまでもなく、労働組合は組合員の雇用を保護しており、総工会の役割は重要である。」と挨拶を受けた。

（蘇州市総工会 集合写真）

これに対し代表団から「歓迎を頂き大変感謝している。石川労福協も蘇州市総工会と同じように労働者を保護する活動をしている。今後も石川労福協と蘇州市総工会の関係が益々深まることを期待する。」と応えた。意見交換では西田団長より、労働者を取り巻く雇用環境や奨学金制度の改善に向けた取り組みと成果、子どもの貧困問題等、労福協の活動や課題を報告し、総工会からは貧困学生に対する補助制度や病気になった場合の援助金制度等が報告された。

意見交換は真摯に、且つ和やかに行われ、今後の石川労福協と蘇州市総工会の交流関係の深化と継続を期して終了した。

蘇州市では、工業園区金鶏湖畔にある文化芸術センターの視察と周辺の散策、明の時代に失脚した高官により造園された「拙政園」を見学した後、中国の高速鉄道（新幹線）で南京市へ移動した。南京では蘇州市総工会の上部団体である江蘇省総工会の方々に歓迎会を開催して頂くこととなり、曹海副主席をはじめ4名と帯同する蘇州市総工会の高副主席と張副主任、顧通訳も交え大いに親交を深めた。

（蘇州市 金鶏湖畔）

（蘇州市 拙政園）

● 8月25日(金)

南京市内の視察と中山陵、大報恩寺遺跡公園、夫子廟を見学

（南京市 中山陵）

（南京市 夫子廟）

訪中３日目は南京市内を視察した。革命の父と言われている孫文の陵墓「中山陵」、千年の歴史を有する瑠璃塔がある「大報恩寺遺跡公園」、儒教の始祖である孔子を祭っている風情ある繁華街の「夫子廟」等何れの場所も重厚な歴史と趣を肌で感じるところであった。

南京市内の視察の後、南京禄口空港より移動する予定であったが、ここでハプニングが発生した。生憎の荒天の影響で出発時間を過ぎても予定の飛行機が到着せず、ロビーで待つこと７時間。漸く機内に誘導されたがこれまた目的地の天候が不良らしく２時間離陸せず、結局欠航となった。止む無く、急遽確保して貰った宿泊先に到着したのは翌午前３時を回っていた。

（南京市 大報恩寺遺跡公園）

● 8月26日(土)

揚州市　瘦西湖と高僧鑑真ゆかりの大明寺を見学

前日、湖南省張家界市へ移動出来なかったことで日程変更を余儀なくされ、確実に予定通り帰国することを優先して以降の日程を変更することとした。マイクロバスで約２時間揺られ向かったのは江蘇省の揚州市北西に広がる風光明媚な人口湖「瘦西湖」。杭州の西湖にちなんで名づけられたが、西湖より小さいので「瘦西湖」と呼ばれている。漕ぎ手の地元歌を聞きながら炉漕ぎ舟で遊覧し、途中、清の乾隆帝が巡幸した際に、釣り糸を垂れたという釣魚台も見学した。

（揚州市 瘦西湖）

（揚州市 瘦西湖 釣魚台）

（揚州市 大明寺 栖霊塔）

次に、日本へ仏法や戒律を伝えた高僧鑑真が住職だったことで知られている寺院「大明寺」を見学した。九層・高さ70ｍの栖霊塔や鑑真の坐像を拝み、遥か遠い奈良時代に思いを馳せた。

（揚州市 大明寺）

● 8月27日(日)

無錫市　霊山大仏を見学

視察最終日は、まず無錫市にある霊山大仏を見学した。中山陵も同様だったが最終目的物に

（無錫市 霊山大仏）

辿り着くには、まず敷地内を大いに歩き、最後に数百段の階段を上る必要がある。視察には体力が必要であることを痛感し、日頃の運動不足を少し悔いた。ここには高さ88ｍある大仏だけではなく仏陀の生誕を表現した噴水ショーや巨大宮殿建築等新しい建立物が多かった。宛ら「仏教のテーマパーク」のようで、広大な敷地に多くの観光客が訪れていた。その後「枯花湾」を見学し、中国での最後の夕食を頂いた。

張副主任、顧通訳と今回の訪問を楽しく振り返り、時に今の国内事情を聞きながら食事をし、お互いに名残を惜しんだ。張副主任とは仕事があるとのことで食事後、再会を期して別れたのだが、後に聞くところによると発熱し病院へ直行して点滴治療を受けたという。アクシデントがあり、日程の変更の対応に奔走し乍らも最後まで親身に我々のお世話を頂いたことに深く感謝した。

（無錫市 霊山大仏 噴水塔）

● 8月28日（月）

帰国（金沢）の途へ

最終日早朝、顧通訳に見送られ上海浦東空港より小松空港への直行便で帰国の途に就いた。中国滞在中、訪問団は体調を崩す者もなく、蘇州市総工会の皆さんの温かく親身な対応に改めて感謝の気持ちで6日間の視察を終えることができた。このことは石川労福協と蘇州市総工会の「絆」、これまで培ってきた友好関係・交流の歴史と更なる交流の深化を願う気持ちが、共有出来ている賜物である。重ねて蘇州市総工会の厚情に感謝すると共に友好交流の深耕と両国の友好を願うところです。石川労信協　出口　俊彦

中央労福協

2017年度新公益法人制度研修会・意見交換会

中央労福協は、8月30日（水）千代田区内の連合会館において、2017年度新公益法人制度研修会・意見交換会（東京会場）を開催した。

研修会には、同法に則り存立する中央労福協会員団体及び関係法人から団体27名が参加し、中央労福協の顧問税理士である関口邦興、小倉秀夫の両氏が講義した。

花井圭子中央労福協事務局長が、「中央労福協は、新公益法人3法が成立する以前から、会計制度の変更など、研修を行ってきた。特に、2013年の新法制定にあっては、法人存続にも係わる抜本的な変更であったことから、準備段階から研修を毎年行ってきた。各団体では、担当者の交代等もあり、今一度、制度を理解し、団体運営に活かしていただきたい。」と開会挨拶した。

関口税理士からは、「制度と運営」、「会計」の２つの講義について、新法によるガバナンス強化などの制度概要を説明するとともに、理事会・総会における運営報告のあり方について、さらに、20年会計の体系と財務諸表のあり方、指定正味財産として区分すべき財産などについて、それぞれ説明された。また、小倉税理士からは、「税制」の講義について、一般社団・財団の法人のほとんどが、非営利団体として税制上で公益法人等に分類されているが、分類の条件に留意しつつ日常業務運営にあたらねばならないと説明された。

講義の後は、講師と参加者との質疑応答により、疑問点の解決や情報の交換をして、短時間ではあったが有意義な研修が開かれた。

全国会館協

全国労働者福祉会館協議会定期総会

全国労働者福祉会館協議会は、第47回定期総会を9月7日（木）～8日（金）の日程で、仙台市の「ハーネル仙台（会員会館）」において開催した。

総会には、全国21会館より14会館23名が出席し、冒頭、松岡章幹事（ハーネル仙台常務

理事）が、開会を宣言するとともにハーネル仙台の吾妻ゆきえ部長を議長に選出した。

中塚宗浩会長（中部会館協議会会長）が「設立以来、約半世紀を迎えるが、設立当時に比べ利用者のニーズは大きく変化してきている。利用者のニーズを利用者の目線で理解すること、また、労働者福祉を主たる目的として我々の会館が設立されたことを忘れることなく、厳しい事業環境下だが、会館運営に活躍いただきたい。」と主催者挨拶をした。

続いて、来賓の地元宮城県労働者福祉資産協会の山崎透理事長が、歓迎と定期総会開催を祝して挨拶し、議題に移った。

執行部が、2016年度事業報告及び会計決算を報告、同監査報告し、承認された。

続いて、2017年度事業計画、会計予算を執行部が提案し、「会館の利用促進、建物修繕費用の調達、新公益法人法による公益目的支出にかかる軽減措置等が、各会館における課題であり、関係機関へ働き掛けたい。」との意見を含めて、全議案を提案どおり承認し総会を終えた。

総会後の役職員研修会は、会員の事例報告として、福山労働会館「みやび」の石井支配人が「12年間の事業実績推移」と題して、「主力事業である婚礼事業の低迷を受け、事業立て直しに向けた中期改善計画の取組み“事業の再構築のために何が必要か”“採算性向上への営業・サービス”“事業活動に配慮しながらの雇用環境の確保など”、黒字化への事業活動の取組み実績」を報告した。

報告の後には、多岐にわたる質疑・意見・情報が交換され、それぞれ会員の事業運営の一助となる研修を終えた。

中部会館協

中部会館協議会幹事会

中部会館協（中部労働者福祉会館協議会）は、9月7日（木）に宮城県のハーネル仙台において、平成29年度第1回幹事会を幹事ら10名の出席で開催した。

中塚宗浩会長（Riseville都賀山理事長）は、「今年も各会館の負担軽減として、この会館での開催としたが、多くの参加をいただき感謝する。今年度も会館相互の情報交換を通じ、会館運営の一助としていきたい。」と挨拶した。

会議では、会員組織事情による2名の幹事の交代を確認した後、本年度会費、年間計画が承認された。また、協議会会計の統合案が提起され、次回幹事会において決定することとした。

また、各会館より、業況報告や情報交換を行い、照明器具に含まれるPCB処理問題や夜間の会議室利用の促進について、時間間際まで議論した。

これからの行事予定

（9月25日現在）

開催日	曜日	行　事	会　場
9月30日	土	金沢LSC・労金・かなざわ地協 ろうきんフェスタ2017	産業展示館2号館
10月2日	月	労福協 自治体要請 自治体担当者会議	ANAホリデイ・イン金沢スカイ
〃	〃	〃　〃　連合石川地方議員団懇談会	〃
5日	木	労福協・LSC第15回福祉グラウンド・ゴルフ中央大会	金沢市民芸術村
11日	水	中部労福協 研究集会（～12日）	和歌山県
13日	金	食とみどり水NW　幹事会	連合石川応接室
21日	土	さわやかU植林ボランティア（～22日）	珠洲市
25日	水	労福協 自治体要請 能登地区自治体訪問（～26日）	津幡町以北市町
31日	火	〃　〃　加賀地区自治体訪問	野々市市以南市町
11月2日	木	石川県勤労者互助会 役員会	金沢市内
3日	金	食とみどり水NW 海外飢餓支援米発送式	フレンドパーク石川
7日	火	労福協 第5回理事会	〃
20日	月	中部労福協 第3回幹事会（～21日）	兵庫県
22日	水	中央労福協 第63回定期大会	東京都
23日	木	第17回大衆運動活動家合祀追悼会	卯辰山顕彰碑前、フレンドパーク石川
29日	水	労福協 自治体要請 金沢市長要請	金沢市役所

加賀 LSC

第15回交流グラウンド・ゴルフ大会

今年で第 15 回となる加賀地域 LSC 交流グラウンド・ゴルフ大会を「いきいきランドかが」にて、26 名の参加のもと開催した。

当日は、昨年と同じく天候にも恵まれ、清々しい風が吹く、絶好のコンディションで開催され、山村ろうきん友の会会長の挨拶に続き、競技がスタートした。

前日までの雨で、芝が濡れていたようで、「思うように飛ばない」と言う声や、「なぜそこで止まる」など色々な声が聞こえましたが、昨年をはるかに上回るホールインワンが出るなど、真剣勝負の中にも笑いがあり、和気あいあいのうちに競技が終了した。

表彰式では、入賞者に高橋事務局次長(労金支店長)より賞品が渡され、無事大会を終えた。

また、選考会で選出された上位の皆さんで 10 月 5 日金沢市芸術村にて行われる中央大会に挑みます。

なお、今回集められた募金は、来年 3 月に児童福祉事業として加賀市に寄附する予定です。

成績は次の通り

男子の部：優勝　表征志、２位　小酒邦雄、
　　３位　塩村春男

女子の部：優勝　小村留美子、２位　松田幸子、
　　３位　小酒千鶴子

加賀地域 LSC 事務局長　御舘　啓太

勤　体　協

第 50 回県勤労者夏季体育大会

≪バスケットボール大会≫

8 月 20 日・金沢市営中央市民体育館

◇男子 4 組　①キムチーず② clutch ③ Chopperz

≪第 20 回ソフトバレーボール津幡大会≫

8 月 20 日・津幡運動公園体育館ほか

◇混合フリー
　▷ A 組　①東陵インフィニティ A ②笠野ロケット団③コんガらガっち
　▷ B 組　①ブラックビーンズ② EASYZ － A ③ SVC 大徳－ C

◇混合 160 歳以上
　▷ A 組　①辰口中部 SVC ②余喜 SVC ③トーン B
　▷ B 組　① EASYZ － B ②金沢 EFS ③ゆめまる A

◇混合 200 歳以上
　▷ A 組　①伏見台 SVC ②なじみウイング③みかわ MARS
　▷ B 組　①さいがわ② EASYZ － D ③七尾 SVC － A

◇混合 240 歳以上
　①ゆめまる B ② FIRECROSS ③カサブランカ（A）

◇女子 140 歳以上
　① ShineB ②米丸トウィンクル③レインボー MIX

≪ソフトボール金沢大会≫

8 月 27 日・金沢市営専光寺ソフトボール場

◇２組　① DZ シャークス② Panap

第 51 回県勤労者秋季体育大会

≪秋季相撲大会≫

9 月 3 日・県立武道館屋内相撲場

◇団体　①金沢市 A ②津幡町相撲連盟 A

◇個人
　▷一般　①中村文哉（金沢市 B）②川口（金沢市 A）
　▷青年　①長井恒輝(津幡町相撲連盟 A)②喜綿(津幡町相撲連盟 A)

≪ソフトテニス大会≫

9 月 3 日・小松市末広コート

◇団体
　▷男子　①小松市 STA ②グランド③もりもり寿司&アントール A、城壁クラブ

◇個人
　▷男子　①秋野･田村（小松市 STA）②奥村･坪根（グランド）③川崎･坂下（小松 STA）、川端・山岸（アルビス川端青果店）
　▷女子　①奥･天川（アルビス川端青果店）②山谷･千野（加賀グリーンクラブ・七尾市 STA）③石田・下條（小松市 STA・加賀グリーンクラブ）、加藤・上田（松ぼっくり・小松市 STA）

≪第 19 回サイアーランニング≫

9 月 10 日・金沢市犀川河川敷

昨年より 13 人多い 178 人がエントリーし、犀川の若宮大橋下を発着点とする、新橋付近―二ツ寺橋間を折り返すコースを 5 キロ、10 キロ、20 キロ、30 キロの 4 部門で自己記録の更新を目指して残暑の中、川風を受けて走った。

≪第 15 回シニアソフトボール大会≫

9 月 17 日・金沢市テクノパーク運動広場

①夢やクレイコーズ②鶴来シニア SB クラブ③野町シルバー

≪第 20 回パークゴルフ大会≫

9 月 18 日・白山市の松任海浜公園

◇団体
　▷男子　①千代野おっさんず（田中、藤本、坂本、橋本）②ドリーム 4 ③みたらし
　▷女子　①松任お嬢ず（北、高桑、平本、上村）②金沢レディース③白山赤トンボ

◇個人
　▷男子　①林外茂次（金沢）②藤本保（白山）③菊池茂久（白山）
　▷女子　①北美穂子(白山)②長木百合子(白山)③上村外美(白山)

≪第 20 回マレットゴルフ大会≫

9 月 18 日・白山市の県営手取公園

　▷男子　①池田昭一(白山)②塩村俊男(白山)③岩崎重次郎(金沢)
　▷女子　①木谷育江(白山)②相川光子(白山)③石倉チエ子(白山)

※この機関紙は再生紙を使用しています。